

## 【小学校】市内小中学校の福祉教育の取組アンケート

【この資料に関して、学校や教育委員会へのお問い合わせはお控えください】

No.	学校	対象	取り組み	実施時期	協力団体・講師	ねらい	単年 or 毎年継続
1	佐倉小	5年	車いす体験	10月	佐倉市 社会福祉協議会	車いすを利用するかたの困りごとを理解することから、福祉について調べる動機付けにするため	毎年継続
2	内郷小	1・2年生	収穫祭	6月	佐倉白翠園	収穫の喜びを分かち合う。	毎年継続
3		1・2年生	秋祭り	10月	佐倉白翠園	ダンスの発表を披露し、ゲームや会話を通した交流を行う。	毎年継続
4		3・4年生	交流会	11月	佐倉白翠園	高齢者の方との会話やゲームを通して交流を行う。	毎年継続
5		3年生以上 ※希望者	高齢者声掛け訓練 ※放課後の開催	11月	高齢者福祉課 包括支援センター PTA主催	認知症サポーター養成講座の上位講座として、認知症を想定した高齢者に声掛けを行う体験を行う。	単年
6	印南小	全学年	人権デリバリー講座 「パラリンピック出場選手の講演」	12月	佐倉市 自治人権推進課	障がいのある方への理解を深め、挑戦することの大切さを知ることができる	単年
7	佐倉東小	5年	福祉についての学習 (バリアフリー、手話)	9月～2月	なし	バリアフリーや手話について学ぶことで、誰もが平等な生活を送れるようにする。	毎年継続
8		6年	SDGsを通して、 佐倉市の福祉政策の学習	9月	なし	佐倉市の福祉について考えることで、市の政策や取組を知った。	単年
9		3年	スーパーマーケット見学で バリアフリーを確認	10月	なし	実際の街中でバリアフリーを見つけることで、親しみをもつ。	毎年継続
10	白銀小	4年	目の不自由な人へのガイド体験	1月	なし	目の不自由な人への理解を深める	毎年継続
11		4年	車いす体験	2月	なし	車いすを利用する人への理解を深める	毎年継続
12	臼井小	1・2年	昔遊び教室	12月	臼井 まちづくり協議会	地域の方から昔の遊びを教えてもらい、地域とのつながりを深める。	毎年継続
13		2年	町たんけんの引率	11月	臼井地区 福祉協議会	地域の方に町たんけんの引率をしてもらい、地域についての理解を深める。	毎年継続
14		3年	盲導犬体験	11月	佐倉市自治人権推進課 日本盲導犬協会	視覚障害のことを学び、盲導犬と生活している視覚障害者のかたのかかわり方を学ぶ。	単年
15		4年	手話体験	4～9月	なし	手話を覚え、聴覚障害のある方とどのようにコミュニケーションをとるのかについて学ぶ。	毎年継続
16		3・4年	イモの苗植え・イモ掘り体験	6・10月	臼井地区 福祉協議会	地域の方からイモ苗の植え方、イモ掘りの仕方を教えてもらい、地域とのつながりを深める。また、掘ったイモを子ども食堂に寄付することで、地域と関わっているのだという意識を高める。	単年
17	全校	防犯意識向上を目的とした 「子ども防犯教室」	6月	臼井 まちづくり協議会	「子どもに自分の命は自分で守る」意識を育くむため、子ども見守り隊有志、佐倉市職員有志、佐倉警察署有志による防犯寸劇を実施。児童は、たくさんの人に支えてもらっているという意識を高める。	毎年継続	

## 【小学校】市内小中学校の福祉教育の取組アンケート

No.	学校	対象	取り組み	実施時期	協力団体・講師	ねらい	単年 or 毎年継続
18	間野台小	全学年	多様性を知る講演会	12月	佐倉市 社会福祉協議会	多様な性のあり方を紹介しながら、児童が「自分を大切に生きる」 「自分の好きを大事にしてよい」という思いをもてるようとする。	単年
19	王子台小	1年	昔遊びの会	10月	白井地区・ 王子台地区 社会福祉協議会	地域の方との交流、伝統文化の継承	毎年継続
20		2年	町探検	10月	なし	町や、町で働く人について知り、町のことを好きになる。	毎年継続
21		3・4年	野外観察会	5・10・12・ 2月	地域のボランティア 佐倉里山支援28	地域の方との交流、地域の良さを知る。	毎年継続
22		4・5年	芋ほり体験	11月	白井地区 社会福祉協議会	地域の方との交流、地域のために活動する意欲を高める(こども食 堂への寄付)。	毎年継続
23		5年	校内バリア点検(車いす体験) 白杖体験・点字教室	7月	佐倉市 社会福祉協議会	体の不自由な人の困りごとや、適切な支援方法を理解する。	毎年継続
24		5年	盲導犬教室	10月	佐倉市自治人権推進課 日本盲導犬協会	盲導犬ユーザーへの理解と適切な支援を学ぶ。	毎年継続
25		5年	学校周辺のバリア点検	12月	佐倉市 社会福祉協議会	障害をもつ人の、町での困りごとを理解し、誰もが過ごしやすい社会 について考える。	毎年継続
26		5年	手話体験	1月	佐倉市 社会福祉協議会	手話を通して、耳の不自由な人とのコミュニケーション方法を学ぶ。	毎年継続
27		5年	福祉について調べたことの発表	3月	佐倉市 社会福祉協議会	福祉について学習したことや考えたことをまとめ、自分たちにでき ることを考え提案する。	毎年継続
28		6年	キャリア教育	1月	なし	様々な職業を知り、社会のために自分にできることについて考え る。	毎年継続
29	全校	昔遊び体験	11月	白井地区・ 王子台地区 社会福祉協議会	地域の方との交流、伝統文化の継承	毎年継続	
30	千代田小	5年	ポッチャ体験	7月	なし	体験を通じて、障害を抱えている方のスポーツを学ぶ。	単年
31		4年	パラリンピック調べ	6月	なし	パラリンピックの選手の競技を通じて、挑戦することの大切さを学 ぶ。	毎年継続

## 【小学校】市内小中学校の福祉教育の取組アンケート

No.	学校	対象	取り組み	実施時期	協力団体・講師	ねらい	単年 or 毎年継続
32	染井野小	全学年	人権デリバリー講座 アンプティサッカー 古城暁博先生講演	12月	佐倉市 自治人権推進課	アンプティサッカー選手の講演を通して挑戦を続けることの大切さを学ぶ。	単年
33		5年	講演	11月	千代田区 社会福祉協議会	福祉は何かを知り、自分たちにできることを考える。	毎年継続
34	上志津小	全学年	「思いやり」をテーマにした標語づくり	12月	なし	相手を理解し、自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができるようにする。	毎年継続
35	志津小	3年	聴覚障害についての学習(調べ学習)	1~2月	なし	聴覚障害のある方への理解を深めるため。	毎年継続
36		4年	視覚障害についての学習 (調べ学習やブラインド走などの実施)	12月~2月	なし	見え方に困難を抱える方へ理解を深めるため。	毎年継続
37	下志津小	1年	昔遊び	12月	南志津 社会福祉協議会	日本の伝統的な遊びを高齢者との交流を通じて深めた。	毎年継続
38	南志津小	6年	茶道教室	6月	南志津 社会福祉協議会 学校運営委員会	茶道の体験を通して、地域の方や他者との関わり方を身につける。	毎年継続
39		4年	ほのぼのランチ	11月	南志津 社会福祉協議会 学校運営委員会	地域の一人暮らしの高齢者を学校にお招きし、給食を一緒に食べる準備をすることで、今後の高齢化社会について考える機会を作る。	毎年継続
40		6年	みこし集会	12月	中志津自治会	上志津中の1年生、下志津小と本校の6年生が参加し、地域のみこし文化に触れ、高齢者とのふれあいの場とする。	毎年継続
41		1年	昔遊び体験	1月	南志津 社会福祉協議会 学校運営委員会	けん玉やおはじきを地域の高齢者の方々に教わり、高齢者との触れ合いの場とする。	毎年継続
42		全学年	ありがとうの会	2月	PTA	スクールガードボランティアさん(ほぼ高齢者)を学校に招待し、手紙を渡したり、合唱を披露する中で、感謝の気持ちを伝える。	毎年継続
43	井野小	5年	「みんなにやさしい井野小」 総合的な学習の時間	12~3月	なし	福祉の意味を理解し、身近な人たちがよりよい生活を送るためにどうしたら良いのかを考える。	毎年継続
44	西志津小	全学年	認知症について	12月	千葉県健康福祉部高齢者福祉課	老人の認知症について理解を深め、思いやる気持ちを持たせるため	単年
45		5年	福祉について	11月~	担任による指導	福祉についての理解を深めるため	毎年継続

## 【小学校】市内小中学校の福祉教育の取組アンケート

No.	学校	対象	取り組み	実施時期	協力団体・講師	ねらい	単年 or 毎年継続	
46	小竹小	4年	総合的な学習の時間における福祉についての調べ学習および体験	1月～3月	なし	様々な困りごとをもって生活している方がいることを知り、誰にとっても暮らしやすいまちづくりの大切さについて学ぶ。	単年	
47	青菅小	全学年	人権デリバリー講座 アンプティサッカー 古城暁博先生講演	12月	佐倉市 自治人権推進課	パラリンピック出場選手の講演を通して前向きに生活しようという心情を養う。	単年	
48	根郷小	実施無し						
49	寺崎小	4年	福祉についての調べ学習	11月～3月	なし	福祉全般について知り、よりよい生活を目指すにはどうしたら良いかを考えるため。	単年	
50		全学年	パラリンピック出場選手の講演	12月	佐倉市 自治人権推進課	パラリンピック出場選手の講演を通して、人権について学ぶ。	単年	
51	山王小	4・5年	認知症サポーター 養成講座	6月	佐倉市 高齢者福祉課	認知症のことを学び、認知症のかたとの関わり方を学ぶ。	毎年継続	
52		5・6年	印旛特別支援学校佐倉分校との交流	7月	印旛特別支援学校佐倉 分校	メンテナンスコースの方の窓掃除の仕方を教えてもらいながら、交流をする。	毎年継続	
53		全学年	人権デリバリー「盲導犬キャラバン」	11月	佐倉市自治人権推進課 日本盲導犬協会	盲導犬ユーザーの方の講演を通して、視覚障がい者の理解を深める。	単年	
54	山王小	4年	視覚障がい者との交流	12月	社会福祉法人 愛光	視覚障がいの方との交流、点字体験を行うことで、視覚障がいの理解を深める。	毎年継続	
55		全学年	あすチャレ！スクール 「車椅子陸上プログラム」	1月	日本財団パラスポーツ サポートセンター	パラリンピック出場選手との出会いを通して、挑戦し続けることの大切さを学ぶ。	単年	
56	和田小	1～3年	敬老会	10月	和田地区 社会福祉協議会	敬老の方に感謝の気持ちを込めて「ブレイメンの音楽隊」の音楽劇を行う。	毎年継続 ※発表内容 が変更	
57		4～6年	敬老会	10月	和田地区 社会福祉協議会	敬老の方に感謝の気持ちを込めて「和太鼓の演奏」をする。	毎年継続	
58		4・5年	高齢者の集い	11月	和田地区 社会福祉協議会	高齢者の方と「ポッチャゲーム」を一緒に行ったり、給食を一緒にとったりして、親交を深める。	毎年継続	
59	弥富小	全学年	パラバドスクールキャラバン	12月	一般社団法人 日本パラバドミントン連 盟	パラバドミントンを通して、パラスポーツに興味をもち、車いす生活や競技の難しさなどを学ぶ。	単年	

【小学校】問2 福祉教育の実施にあたり、注意した点や課題を教えてください。

No.	学校名	回答内容
1	佐倉小学校	・できるだけ多く車いすを体験できるようにしたが、時期も悪く(選挙前後だった)、お借りした車いすの数が少なくなってしまうので、早めに実施計画を立てるようにしたい。
2	内郷小学校	本校では、3,4年生時に、認知症サポーター養成講座を隔年で行い、実際に高齢者施設に行く際の伏線に考えている。(次回は、令和7年度)
3	印南小学校	全校の人権集会として、毎年デリバリー事業を活用させていただいている。毎年行っているため、同じ講演が続くことのないように注意している。
4	佐倉東小学校	注意点「障がい」という言葉について注意して授業に取り組みました。自分事としてとらえられるように授業を工夫しました。 課題 低学年、中学年で指導ができなかった。講師を呼んだり実際に体験することができなかった。
5	白銀小学校	安全指導を十分に行う。
6	臼井小学校	福祉教育は、単発的に行うよりも継続的に行っていく方が効果的だと考えます。そのためは、行事や学習がどのように福祉教育に繋がっていくのか、意識できるような手立てが必要だと思います。 本校は、指定を受けている間は意識ができるように働きかけることはできますが、教職員の仕事を考えると常にできることではないかと思えます。
7	間野台小学校	回答なし
8	王子台小学校	・学年の実態に合わせて相手意識をもたせて活動に臨み、様々な人とどのように関わればよいのか考えられるようにした。 ・活動の実施時期によっては、感染症等の理由から活動できなくなることがあったため、実施時期の再検討が必要。
9	千代田小学校	・障害を抱えている方の気持ちが考えられる教材を選ぶようにした。 ・課題として、体験した後の振り返り方について再考していきたい。
10	染井野小学校	固定観念を生まないように「障害」について、それが「不幸」だと受け止めないようにするよう努めました。
11	上志津小学校	・子どもたちの目に触れるところに掲示し、意識づけを図るとともに、自分達の行動を振り返る時間を設けた。 ・次年度は講師の方から話を聞いたり、体験活動を取り入れたりするなどして、子ども達に様々な視点をもたせられるようにしていきたい。
12	志津小学校	・障害のある方の困り感や実態を知ることで、「障害があるからかわいそう」で終わらず、それも1つの個性であると意識できるよう指導した。 ・視覚障害や聴覚障害などの方と同じような体験をすることで、それぞれの困り感をより理解できるようにした。

【小学校】問2 福祉教育の実施にあたり、注意した点や課題を教えてください。

No.	学校名	回答内容
13	下志津小学校	けが予防。感染症対策などに注意をはらった。また寒い時期に行ったので、寒さ対策を行った。
14	南志津小学校	・来校したり、指導をしてくださる方々への接し方や言葉遣いについて、尊敬の念が伝わるよう児童に指導した。 ・準備を進める中で、感謝の気持ちや思いやりの気持ち、ありがたさが伝わるよう、指導した。
15	井野小学校	<課題> コロナ禍以前のように、お年寄りを学校に招待して交流を図ることが難しい。 週当たりの時数が削減されていることで、学年全体で体験学習を行うための余剰時間がとりにくい。
16	西志津小学校	・専門的な知識や資格を持っている方を講師として迎えるための準備に時間がかかる。 ・単年開催では、毎年テーマの選定に苦慮している。
17	小竹小学校	点字・手話・車いす・高齢者など幅広い分野を取り入れた。できれば、それぞれの分野をより深く学べるようにしたい。
18	青菅小学校	・事前指導の目的を先生方にも共有し、講演会の意義を各学級でも児童へ伝えてもらうようにした。 ・事後指導では、どのように感じたかを各学級で話し合ったり、考えを深めたりする時間を設けた。その中で、人権集会をやったからおわり、ではなく「どう感じたのか。」「相手をどう受け入れ、それを本人がどう克服したか。」を考えられるようにした。
19	根郷小学校	福祉教育について、今後実施するような計画をしていく。
20	寺崎小学校	「特別」として捉えるのではなく、みんな「社会の一員」としてよりよい社会を作り出すにはどうしたら良いかを考えさせるよう努めた。
21	山王小学校	・保護者へ学校だより等で事前周知、事後報告を行った。 ・事前に、打ち合わせを行い、スムーズに学習が進められるようにした。 ・継続して実施していくための時間の確保が課題。
22	和田小学校	単発の交流に終わらないよう、相手の立場に立ち、思いやりの気持ちを育めるように留意しています。敬老会は地域の行事に参加する形で取り組んでおりますが、地域行事が土曜日にあるため、土曜登校としております。ただ、幼稚園の運動会時期と重なるため、児童及び教職員の参加が難しい場合も多く、日程の調整が課題と考えております。年間計画では特に福祉については明記しておりません。募金活動など児童に趣旨を話して、協力してもらっています。
23	弥富小学校	事前打ち合わせがメールのみだったので、準備等のやりとりが大変だった。

【小学校】問2 福祉教育の実施にあたり、注意した点や課題を教えてください。

No.	学校名	回答内容
1	佐倉小学校	・できるだけ多く車いすを体験できるようにしたが、時期も悪く(選挙前後だった)、お借りした車いすの数が少なくなってしまったので、早めに実施計画を立てるようにしたい。
2	内郷小学校	本校では、3,4年生時に、認知症サポーター養成講座を隔年で行い、実際に高齢者施設に行く際の伏線に考えている。(次回は、令和7年度)
3	印南小学校	全校の人権集会として、毎年デリバリー事業を活用させていただいている。毎年行っているため、同じ講演が続くことのないように注意している。
4	佐倉東小学校	注意点 「障がい」という言葉について注意して授業に取り組みました。自分事としてとらえられるように授業を工夫しました。 課題 低学年、中学年での指導ができなかった。講師を呼んだり実際に体験することができなかった。
5	白銀小学校	安全指導を十分に行う。
6	白井小学校	福祉教育は、単発的に行うよりも継続的に行っていく方が効果的だと考えます。そのためには、行事や学習がどのように福祉教育に繋がっていくのか、意識できるような手立てが必要だと思います。 本校は、指定を受けている間は意識ができるように働きかけることはできますが、教職員の仕事を考えると常にできることではないかと思えます。
7	間野台小学校	回答なし
8	王子台小学校	・学年の実態に合わせて相手意識をもたせて活動に臨み、様々な人とどのように関わればよいのか考えられるようにした。 ・活動の実施時期によっては、感染症等の理由から活動できなくなることがあったため、実施時期の再検討が必要。
9	千代田小学校	・障害を抱えている方の気持ちが考えられる教材を選ぶようにした。 ・課題として、体験した後の振り返り方について再考していきたい。
10	染井野小学校	固定観念を生まないように「障害」について、それが「不幸」だと受け止めないようにするよう努めました。
11	上志津小学校	・子どもたちの目に触れるところに掲示し、意識づけを図るとともに、自分達の行動を振り返る時間を設けた。 ・次年度は講師の方から話を聞いたり、体験活動を取り入れたりするなどして、子ども達に様々な視点をもたせられるようにしていきたい。

【小学校】問2 福祉教育の実施にあたり、注意した点や課題を教えてください。

No.	学校名	回答内容
12	志津小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある方の困り感や実態を知ること、「障害があるからかわいそう」で終わらず、それも1つの個性であると意識できるよう指導した。</li> <li>・視覚障害や聴覚障害などの方と同じような体験をすることで、それぞれの困り感をより理解できるようにした。</li> </ul>
13	下志津小学校	けが予防。感染症対策などに注意をはらった。また寒い時期に行ったので、寒さ対策を行った。
14	南志津小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来校したり、指導をしてくださる方々への接し方や言葉遣いについて、尊敬の念が伝わるよう児童に指導した。</li> <li>・準備を進める中で、感謝の気持ちや思いやりの気持ち、ありがたさが伝わるよう、指導した。</li> </ul>
15	井野小学校	<p>&lt;課題&gt;                      コロナ禍以前のように、お年寄りを学校に招待して交流を図ることが難しい。                      週当たりの時数が削減されていることで、学年全体で体験学習を行うための余剰時間がとりにくい。</p>
16	西志津小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な知識や資格を持っている方を講師として迎えるための準備に時間がかかる。</li> <li>・単年開催では、毎年テーマの選定に苦慮している。</li> </ul>
17	小竹小学校	点字・手話・車いす・高齢者など幅広い分野を取り入れた。できれば、それぞれの分野をより深く学べるようにしたい。
18	青菅小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前指導の目的を先生方にも共有し、講演会の意義を各学級でも児童へ伝えてもらうようにした。</li> <li>・事後指導では、どのように感じたかを各学級で話し合ったり、考えを深めたりする時間を設けた。その中で、人権集会をやったからおわり、ではなく「どう感じたのか。」「相手をどう受け入れ、それを本人がどう克服したか。」を考えられるようにした。</li> </ul>
19	根郷小学校	福祉教育について、今後実施するような計画をしていく。
20	寺崎小学校	「特別」として捉えるのではなく、みんな「社会の一員」としてよりよい社会を作り出すにはどうしたら良いかを考えさせるよう努めた。
21	山王小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者へ学校だより等で事前周知、事後報告を行った。</li> <li>・事前に、打ち合わせを行い、スムーズに学習が進められるようにした。</li> <li>・継続して実施していくための時間の確保が課題。</li> </ul>

【小学校】問2 福祉教育の実施にあたり、注意した点や課題を教えてください。

No.	学校名	回答内容
22	和田小学校	単発の交流に終わらないよう、相手の立場に立ち、思いやりの気持ちを育めるように留意しています。敬老会は地域の行事に参加する形で取り組んでおりますが、地域行事が土曜日にあるため、土曜登校としております。ただ、幼稚園の運動会時期と重なるため、児童及び教職員の参加が難しい場合も多く、日程の調整が課題と考えております。年間計画では特に福祉については明記しておりません。募金活動など児童に趣旨を話して、協力してもらっています。
23	弥富小学校	事前打ち合わせがメールのみだったので、準備等のやりとりが大変だった。

### 【小学校】問3 福祉教育の実施にあたり、どのような佐倉市の支援があるとよいと思いますか？

No.	学校名	回答内容
1	佐倉小学校	・福祉教育プログラムの提案
2	内郷小学校	包括支援センターや高齢者福祉課の方から、「認知症サポーター養成講座の様にプログラム化」をして提示いただくと助かる。(学校がチョイスしたりアレンジするようなイメージ)
3	印南小学校	デリバリー事業や教材の貸し出しなど様々な支援をしていただいているので、今後も有効活用させていただきたいと思います。
4	佐倉東小学校	・研修の実施 ・講師の派遣 ・実際に体験できるような道具の貸し出し
5	白銀小学校	社会福祉協議会のHPから、学校に貸し出せるもの(車いす、アイマスク、白杖など)や出張授業などの情報が入りやすくして欲しい。
6	臼井小学校	盲導犬キャラバンの体験活動を2年連続でやらせていただいています。児童や職員が、とても有意義な学習になったと満足しているのでぜひ毎年行いたいと思います。
7	間野台小学校	回答なし
8	王子台小学校	・講師の派遣。(佐倉に伝わる民話など、地域に詳しい方から話を聞く機会をつくりたい。) ・情報の提供。(特に学習と関連のある内容・近隣校での取り組みについて知りたい。)
9	千代田小学校	パラリンピック選手の派遣
10	染井野小学校	・市内の教職員が積極的に福祉の実態把握などにふれる機会を持つことができるようにしてもらえるとありがたいです。 ・市内で実施できる支援内容を一覧にして紹介して頂けると外部人材を活用しやすくなります。
11	上志津小学校	様々な講座について教えていただけると、取り組みの参考になります。

### 【小学校】問3 福祉教育の実施にあたり、どのような佐倉市の支援があるとよいと思いますか？

No.	学校名	回答内容
12	志津小学校	・障害のある方たちの実体験がわかるようなビデオ ・話が聞ける場
13	下志津小学校	回答なし
14	南志津小学校	特に要望はありません。現在、志津南地区社会福祉協議会の協力により、交流が進められています。また、本校学校運営委員会もサポートしていただいて、ありがたいです。できる範囲で、できることを、お互いに意見交換をしながら、行なっています。
15	井野小学校	回答なし
16	西志津小学校	・講演ができる福祉関係のリストと、手配までの支援。
17	小竹小学校	福祉教育プログラムの提案や講師の派遣など、市が行っている支援がすぐにわかる資料(パンフレットなど)
18	青菅小学校	講師の派遣があると良い
19	根郷小学校	・車いす体験 ・高齢者体験 ・ボッチャ体験 ・パラリンピック競技の体験など
20	寺崎小学校	・講師の派遣 ・授業の支援内容 ・どういった人にどのような支援があるのか(具体的な手立て)
21	山王小学校	・福祉教育プログラムの提案 ・講師の派遣 ・講師料の補助
22	和田小学校	回答なし
23	弥富小学校	支援は十分なので、今後も学校の実態に合わせて検討していきたい。

## 【中学校】市内小中学校の福祉教育の取組アンケート

No.	学校	対象学年	取り組み	実施時期	協力団体・講師	ねらい	単年 or 毎年継続	
1	佐倉中		実施無し					
2	佐倉東中	全学年	障がいのある人や感染症に関連する動画を視聴	6月	なし	人権作文を書くことに向けた動機付けのため	毎年継続	
3	臼井中	全学年	全校授業	12月	なし	障がいのある方についての理解を深め、行動のあり方について考える。	単年	
4	臼井西中	1年	手話学習	11月	佐倉市 社会福祉協議会	視覚障害のある人の気持ちや困りごとについて理解するため		
5		1年	点字学習	11月	佐倉市 社会福祉協議会	聴覚障害のある人の気持ちや困りごとについて理解するため		
6		1年	認知症サポーター養成講座	11月	佐倉市 社会福祉協議会	認知症について学習し、認知症の人との交流の仕方についてを理解するため		
7		1年	赤い羽根募金	11月	臼井地区 福祉協議会	募金の重要性や使われ方について学び、理解するため		
8		1年	高齢者交流	11月	佐倉市 社会福祉協議会	高齢者について学習し、高齢者との交流の仕方やより良い関係作りをしていくため		
9		2年	校外にある福祉学習	11月	特になし	校内と校外の福祉設備について比較し、障害のある人の困りごとなどを理解するため		
10		全学年	奉仕作業	5月	臼井地区 福祉協議会	学校のグラウンドの草むしりや石拾いを行い、より良い環境作りの大切さを学校全体で理解するため		
11		臼井南中	1年	多文化共生開発講座	7月	千葉県コンベンション ビューロー	地域に住む多国籍の方の理解を深める	単年
12			3年	幼児との交流	9月	青葉保育園	幼児の心身の発達の理解	単年
13			3年	認知症サポーター養成講座	2月	佐倉市 社会福祉協議会	認知症に対する理解を深める 高齢者など地域の人たちと関り、協働する方法を学ぶ	単年
14	志津中		実施無し					

## 【中学校】市内小中学校の福祉教育の取組アンケート

No.	学校	対象学年	取り組み	実施時期	協力団体・講師	ねらい	単年 or 毎年継続
15	上志津中		道徳の授業等で福祉的な内容を扱う			佐倉型カリキュラムマネジメント実施のための行事削減により、実施しておりません。	
16	井野中	3年	子育て理解講座 (妊婦体験や講話など)	6月	佐倉市 社会教育課	妊娠している方の生活状態や子育ての実態について理解するため。	毎年継続
17	西志津中	全学年 (やまぶき学級)	ふれあい敬老フェスタでの 出品作品製作と販売体験	10月	西志津地区 社会福祉協議会	特別支援学級の作業の授業で作っている製品について、幅広く地域の方に知っていただく。	毎年継続
18		全学年 (やまぶき学級)	ほほえみカレンダーの制作	6月～10月	印旛特別支援教育 研究連盟	特別支援学級の生徒が描いたカレンダーの作品について、幅広く地域の方に知っていただく。	毎年継続
19	根郷中	1年	福祉についての講話	6月	社会福祉施設 愛光	福祉についての理解	毎年継続
20		1年	聴覚障がい疑似体験	12月	なし	聴覚に障がいを持った方の困りごとを理解するため	毎年継続
21		1年	各障がいについての調べ学習	夏休み	なし	各障がいを知る	毎年継続
22		2年	アイマスク歩行体験	7月	社会福祉施設 愛光	視覚に障がいを持った方の困りごとを理解するため	毎年継続
23		2年	手話講座	11月	佐倉市 ボランティアセンター	手話を利用する方の困りごとを理解するため	毎年継続
24		3年	点字講座	9月	千葉県視覚障がい者 福祉協議会 社会福祉施設 愛光	点字についての理解	毎年継続
25	南部中		実施無し				

【中学校】問2 福祉教育の実施にあたり、注意した点や課題を教えてください。

No.	学校名	回答内容
1	佐倉中学校	佐倉型カリキュラム初年度で、実施時間を確保することが困難であったことが課題である。
2	佐倉東中学校	回答なし
3	臼井中学校	障がいに対する見方や捉え方を広げることができるよう、より効果的な学習教材についての検討を行いました。
4	臼井西中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各講座でしっかり学習し、他の講座を受けた生徒にも学習内容がわかりやすく伝わるように、発表の仕方を工夫した。</li> <li>・協力団体と連携し、連絡を密に行うようにした。</li> <li>・全学年で福祉について学ぶ機会をたくさん作れるように工夫できると良いと思う。</li> </ul>
5	臼井南中学校	協力団体と連絡を密にとる。事前にこちらでも勉強をする。例えば、イスラム教徒の方でも宗派が異なるため、担当者の方に講師の方を選んでいただきました。
6	志津中学校	令和6年度は、学校や学年として福祉教育を総合・学活の時間を使って取り組むことはありません。文部科学省の「学習指導要領」にそって、各教科の授業の中で取り組みます。
7	上志津中学校	道徳の授業等で福祉的な内容を扱っていますが、車いす体験や認知症サポーター講座などは、佐倉型カリキュラムマネジメント実施のための行事削減により、実施しておりません。
8	井野中学校	「共生」を理解するという目的から考えると、子育てだけにスポットライトを当てるのではなく、お年寄りや身体の不自由な方のことも総合的に学習できるプログラムの方が、福祉について考える良い機会になるのではないかと。
9	西志津中学校	<p>作業の授業で製品作りを行った。たくさんの人に自分たちが作っている物を見ていただき、購入していただけるように丁寧に指示書通りに作るように確認を行った。</p> <p>当日、お客様への対応について、事前に練習を行い、当日困らないようにし、失礼な態度にならないように気をつけた。</p> <p>ほほえみカレンダーは、やまぶき学級の美術の時間に制作。来年度の卓上用カレンダーに1名が採用された。</p> <p>特別支援学級で活動していることを広く知ってもらうために販売会などを実施しているが、授業の関係で参加が難しい生徒も多いことが課題である。</p>
10	根郷中学校	障がいを持った方への人権配慮。
11	南部中学校	回答なし

【中学校】問3 福祉教育の実施にあたり、どのような佐倉市の支援があるとよいと思いますか？

No.	学校名	回答内容
1	佐倉中学校	・多くのカリキュラムの提供をいただき、ありがとうございます。今後もよろしくお願いします。
2	佐倉東中学校	回答なし
3	臼井中学校	十分に支援していただけていますが、福祉教育プログラムをさらにご提案いただけるとなお一層福祉教育が充実すると感じます。
4	臼井西中学校	・職員のモチベーションを高めるために、基礎的な福祉研修があると良いと思います。 ・学校と福祉団体などがより連携できるような取り組みがあると良いと思います。
5	臼井南中学校	色々な講座でも型があると(中学生の授業ならこの流れなど)、担当団体の方との連絡や計画がスムーズに進むと思います。
6	志津中学校	警察署による「交通安全教室」や交響楽団による「音楽教室」のように、学校が選択して依頼できるような「福祉教育プログラム」が用意されていると実施しやすいです。関係機関や講師などとの連絡・調整は市役所に担当していただき、新たな取り組みによって学校現場の負担が増えることのないように配慮してほしいです。
7	上志津中学校	回答なし
8	井野中学校	他校の実施事例の紹介 教育プログラムの紹介や協力団体・講師の紹介や斡旋
9	西志津中学校	実施に係る予算配当、協力していただける団体や人の紹介、教職員の負担軽減のためのコーディネーターの部分配置
10	根郷中学校	講師の紹介、案内など。
11	南部中学校	回答なし